

# これから 就活に挑む 若者たちへ

## 自分株式会社の経営者になって 投資してくれる企業を見つけ出そう

これまでになかったモチベーション改革で企業を変える

(株)リンクアンドモチベーション 代表取締役社長 小笹芳央さん (46歳)

### PROFILE

1961年生まれ、大阪府出身。早稲田大学政治経済学部卒業後、(株)リンクアンドモチベーション入社。人事部人材開発課長、組織人事コンサルティング室室長、ワークス研究所主幹研究員などを経て、2000年同社を設立し、代表取締役社長に就任。企業変革の気鋭のコンサルタントとして注目を集め、セミナー、講演、寄稿など多数。「人材流動化時代の経営技法」「次世代のリーダーシップ」「モチベーションマネジメント」「これからのキャリアデザイン」など、時流をとらえた内容が、経営者から大学生まで幅広い世代で人気を得ている。

企業の組織活性化の手法として、新たに社員モチベーションの改革を提案し、業績を伸ばす会社がある。伸びる会社の状態を知るリンクアンドモチベーション、社長の小笹芳央氏が就活への心構えを語る。

### 社会に出ていないから 仕事では会社を選べない

私の就活体験は、あまり皆さんの参考にならないかもしれませんが（笑）。

当時私は1年間の浪人と1年間の留年で2年遅れており、早く社会に出たいというエネルギーは大いにあったのですが、就活に関しては正直何も考えていませんでした。

周囲に遅れながらも、あるとき、自分がいったい何を求めているの

か、じっくり考えました。すると、何をしたいというより、どんな人たちと、どんな雰囲気働けるのかを重要と思っていることに気づいたのです。そこから就活が一変しました。当初は証券会社や商社をまわり、まず商社の内定を得て、その後、情報誌事業を行うリクルートからも内定をもらうことができました。会社選びで考えたことは、自分はまだ社

会にも出ていないし、仕事もしたことがない、だから仕事では選べないということでした。唯一思ったのは、できるだけ早く第一線で活躍したいということです。

そこで社員構成で一人前になれる目安を得ようと、社員の平均年齢を調べました。すると、商社の平均年齢は38歳、リクルートは26歳。若さでリクルートに決めたのです。



### 私の 就活体験

#### 「大きな仕事したい」と 最初は手軽な言葉に飛びつく

当初、周囲からの質問には「大きな仕事したい」という言葉でごまかし、手当たり次第に企業を回っていました。「重電機メーカーに行けば」と友人に言われ、初めて大きな仕事の意味を考え、事業内容ではなく、人を選びたいことに気づいたのです。それでも、最後まで面接に遅刻したりして、ダメな就活生でした（笑）。

### 成長は突然、急激にやってくる その瞬間を得るまでがんばる

内定後、リクルートで営業のアルバイトを経験し、比較的よい業績をあげていたのですが、入社後の配属先は予想外の人事部でした。それから人事畑を歩き、在籍した終盤には企業の組織活性化をお手伝いするサービスの新規事業を立ち上げました。そこで、社員のモチベーションを重視する経営者が、非常にたくさんいることに気づき、これは事業になると、独立を決意したのです。

これまでを振り返って、仕事との出会いについて思うことは、どんな会社に入り、どんな仕事に就くか、それはくじ引きのようなものだということです。最初から自分のやりたいことができる人はほとんどいませ



ん。入社する1社を決めたら、その選択が正解だったと思えるような歩み方をするしかないのです。

最近、第2新卒として転職を繰り返す人もいますが、キャリアアップにつながっていない人が多いようです。それは成長のブレイクスルーを体験できていないからだと思っています。

人の成長は右肩上がりでも継続的に伸びるように思いますが、実際は違います。例えていうと、逆上がりが

できるときに似ています。できない状態が続き、突然大きく飛躍する動きがくるのです。

入社してすぐに、仕事に対して違和感を覚えてしまうような人は、「逆上がりが、自分に向いていないのかも」と、前提を間違えていることが多いのです。ここで「もっと自分に向いた競技があるはず」と探し始めると、自分探し症候群におちいるだけで、キャリアアップはできません。

### 自分株式会社成功は信頼残高で決まる

栄枯盛衰が激しい世の中になり、個人の仕事寿命よりも、組織や事業部の寿命が短くなってきたいます。要するに会社に頼れない時代なのです。そこで私は、企業の社員にアドバイスする際、いつも「アイカンパニー」すなわち自分株式会社の経営者になりなさいと言っています。

アイカンパニーの考え方では、働く企業は契約先と考えます。すると「ビジョン」「戦略」「競合」など、会社経営にまつわるキーワードで、自分を分析できます。そして、企業と約束した仕事を遂行することで、周囲からの信頼残高を高めていくのです。信頼があれば、仕事も、顧客も、仲間もあなたに集まってきます。そう考えると、学生にとっていい会社とは、安定度や知名度ではなく、アイカンパニーへの投資に積極的な会社だといえるのです。会社のセミナーに行けば、その会社がどれだけ個人に投資しようとしているかは感覚でもわかります。就活では、この感覚を指標に、自分を成長させられる会社を見つけてください。

### ■就活にのぞむ皆さんに贈る言葉

#### ●誰にとってもいい会社なんて存在しない

会社は個人ごとの物差しでしか選べません。自己責任において選択し、正しかったと思えるようがんばるだけです。

#### ●1つの約束を守り続けると信頼は倍増する

約束を守り続けると、周囲の評価は変わっていきます。どんな小さなことでも、守れるものを見つけてください。

#### ●アイカンパニーでは、独立する・しないは関係ない

私も当初は、独立など夢にも考えていませんでした。会社と貸し借りのない関係であれば、その意識だけでいいのです。